

CA Product Vision

実装ガイド

Winter 2012



第 2 版

このドキュメント(組み込みヘルプ システムおよび電子的に配布される資料を含む、以下「本ドキュメント」)は、お客様への情報提供のみを目的としたもので、日本 CA 株式会社(以下「CA」)により随時、変更または撤回されることがあります。

CA の事前の書面による承諾を受けずに本ドキュメントの全部または一部を複製、譲渡、開示、変更、複本することはできません。本ドキュメントは、CA が知的財産権を有する機密情報です。ユーザは本ドキュメントを開示したり、(i) 本ドキュメントが関係する CA ソフトウェアの使用について CA とユーザとの間で別途締結される契約または (ii) CA とユーザとの間で別途締結される機密保持契約により許可された目的以外に、本ドキュメントを使用することはできません。

上記にかかわらず、本ドキュメントで言及されている CA ソフトウェア製品のライセンスを受けたユーザは、社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、当該ソフトウェアに関連する本ドキュメントのコピーを妥当な部数だけ作成できます。ただし CA のすべての著作権表示およびその説明を当該複製に添付することを条件とします。

本ドキュメントを印刷するまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、上記のライセンスが終了した場合には、お客様は本ドキュメントの全部または一部と、それらを複製したコピーのすべてを破棄したことを、CA に文書で証明する責任を負います。

準拠法により認められる限り、CA は本ドキュメントを現状有姿のまま提供し、商品性、特定の使用目的に対する適合性、他者の権利に対して侵害のないことについて、黙示の保証も含めいかなる保証もしません。また、本ドキュメントの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の喪失等、いかなる損害(直接損害か間接損害かを問いません)が発生しても、CA はお客様または第三者に対し責任を負いません。CA がかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本ドキュメントで参照されているすべてのソフトウェア製品の使用には、該当するライセンス契約が適用され、当該ライセンス契約はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本ドキュメントの制作者は CA です。

「制限された権利」のもとでの提供: アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212、52.227-14 及び 52.227-19(c)(1)及び(2)、ならびに DFARS Section 252.227-7014(b)(3) または、これらの後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

Copyright © 2011 CA. All rights reserved. 本書に記載された全ての製品名、サービス名、商号およびロゴは各社のそれぞれの商標またはサービスマークです。

CA への連絡先

テクニカル サポートの詳細については、弊社テクニカル サポートの Web サイト (<http://www.ca.com/jp/support/>) をご覧ください。

目次

第 1 章: はじめに	7
第 2 章: インストールおよび設定	9
CA Product Vision のインストールの準備	9
CA Product Vision のインストール	11
CA Product Vision の設定	14
CA Product Vision を使用できるように既存のプロファイルを設定	14
OOTB チャートおよびレポートの表示権限の設定	15
第 3 章: 以前のリリースからのアップグレード	17
Spring 2011 (Version 2.10) から CA Product Vision Winter 2012 (Version 3.0) へのアップグレード 方法	17
ユーザ プロファイルの更新	18
アップグレード ジョブ (Winter 2012) の実行	19
CA Product Vision Winter 2011 A1 から Spring 2011 へのアップグレード方法	20
選択リスト値へのカスタム値のコピー	20
ユーザ プロファイルの更新	22
インボックスのアップグレード	28
アップグレード ジョブの実行	29
バージョン 2.8 から CA Product Vision バージョン 2.10 へのアップグレード	30
第 4 章: CA Vision アドイン	35
CA Agile Vision アドインのダウンロード	35
CA Vision アドインのインストール	36
CA Clarity 用の CA Vision アドインのアップグレード	36
CA Vision のプロセスとジョブの無効化	37
CA Vision アドインの設定	37

第 5 章: CA Agile Vision のみのアップグレード後に CA Product Vision を設定 する方法

41

Product Vision スーパー ユーザ プロファイルの作成	41
Product Vision ユーザ プロファイルの作成	46
Vision スーパー ユーザ プロファイルの作成	55
Vision ユーザ プロファイルの作成	60

第 1 章: はじめに

CA Product Vision ヘルプへようこそ このドキュメントが提供する情報は、この新リリースの使用を開始する際に役に立ちます。

[インストールおよび設定](#) (P. 9)

[以前のリリースからのアップグレード](#) (P. 17)

[CA Agile Vision 用のアドイン](#) (P. 35)

[CA Agile Vision のみのアップグレード後に CA Product Vision を設定する方法](#)
(P. 41)

第 2 章: インストールおよび設定

既存の Salesforce.com 組織に CA Product Vision を新規インストールする場合、以下のセクションの手順を完了します。

CA Product Vision を初めて使用するが、既存の Salesforce.com 組織がない場合、これらの手順を完了する必要はありません。CA サポートによって提供される URL とログイン情報を使用して、CA Product Vision に直接ログインすることができます。

注: 既存の Salesforce.com 組織へインストールするときは、アクティブな Salesforce プラットフォーム ライセンスを 1 つ以上持っていることを確認してください。アクティブなライセンスがない場合は、インストールを中止し、Salesforce.com サポートまたは CA Technologies 販売代理店に連絡してください。Salesforce プラットフォーム ライセンスがないと、インストールの完了に必要な標準プラットフォーム プロファイルが与えられません。

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[CA Product Vision のインストールの準備](#) (P. 9)

[CA Product Vision のインストール](#) (P. 11)

[CA Product Vision の設定](#) (P. 14)

CA Product Vision のインストールの準備

CA Product Vision または CA Agile Vision を初めてインストールする場合、その前に必要なプロファイルを設定し、Chatter を有効化します。

以下の表に、必要となるプロファイルをインストールする製品別に示します。たとえば、CA Product Vision をインストールする場合、Product Vision スーパーユーザおよび Product Vision ユーザ プロファイルが必要です。

必要なプロファイル	CA Agile Vision のみ	CA Product Vision のみ	CA Agile Vision と CA Product Vision の両方
Agile Vision スーパーユーザ	X		X
Agile Vision ユーザ	X		X

Product Vision スーパー ユーザ	X	X
Product Vision ユーザ	X	X
Vision スーパーユーザ		X
Vision ユーザ		X

次の手順に従ってください:

1. Salesforce.com 組織にログインします。
2. [設定]リンクをクリックして、Salesforce.com 上の[個人設定]ページに移動します。
3. [管理者設定]メニューから[組織プロフィール]を選択し、[組織情報]に移動します。
[組織情報]ページが表示されます。
4. [ユーザライセンス]セクションまでスクロールし、少なくとも 1 つの Salesforce プラットフォーム ライセンスがアクティブになっていることを確認します。少なくとも 1 つの Salesforce プラットフォーム ライセンスがアクティブになっていない場合は、Salesforce.com のサポートにご連絡ください。
5. [管理者設定]メニューから[ユーザの管理]を選択し、プロフィールに移動します。
ユーザ プロファイル ページが表示されます。
6. 標準プラットフォーム ユーザ プロファイルをコピーして、以下のプロフィールを作成します。標準プラットフォーム ユーザ プロファイルを利用できるのは、アクティブな Salesforce プラットフォーム ライセンスを 1 つ以上持っている場合だけです。

この手順の最初に記載されている表には、CA Agile Vision、CA Product Vision または両方の製品をインストールする場合に、どのプロフィールが必要になるかが指定されています。

7. Chatter を有効にするには、以下の手順に従います。
 - a. [アプリケーションの設定]メニューから、[カスタマイズ]をクリックして展開し、[Chatter]をクリックして展開し、次に[設定]をクリックします。
[Chatter 設定]ページが表示されます。
 - b. [編集]をクリックします。
 - c. [Chatter 設定]セクションの[有効化]チェック ボックスをオンにします。
 - d. [保存]をクリックします。
8. Salesforce.com 組織からログアウトします。

CA Product Vision のインストール

インストールするには、既存のジョブを削除し、Web サイトにログインしてインストールを開始します。

各ユーザー プロファイルに割り当てるアクセスレベルを以下の表に示します。アクセスレベルは、以下の手順で設定します。

同じ名前の プロファイル のアクセス レベルを設定	Agile Vision スーパー ユーザ	Agile Vision ユーザ	Product Vision スー パーユーザ	Product Vision ユー ザ	Vision スー パーユーザ	Vision ユーザ
CA Product Vision			X	X		
CA Agile Vision と CA Product Vision の両 方	X	X	X	X	X	X

次の手順に従ってください:

1. 既存のジョブを削除します。
 - a. [セットアップ]ページを開き、[管理者設定]セクションから、[監視] - [スケジュール済みジョブ]を展開します。
 - b. 以下のジョブが存在する場合は削除します。
 - ユーザ ストーリー完了ステータスのチャート データポイント生成
 - リリースの[日次チャート]データポイントの生成
 - 要件の[日次チャート]データポイントの生成
 - スプリントの[日次チャート]データポイントの生成
 - すべてのオブジェクトの外部 ID の日次更新
 - 要件トレンドの計算
2. ブラウザ ウィンドウのアドレスバーに以下の URL を入力します。サンドボックス環境へインストールする場合は、URL の「login.salesforce.com」を「test.salesforce.com」に置き換えてください。
`https://login.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04tA00000000Jhxi`
3. [ログイン]ページで、システム管理者のユーザ名およびパスワードを入力し、[ログイン]をクリックします。

新規バージョンのインストール用に提供されているパスワードを入力し、[サブミット]をクリックします。必要なパスワードがない場合は、[CA サポート](#)にご連絡ください。
4. インストールする CA Technologies - PPM パッケージのバージョンおよび発行者が以下のようになっていることを確認します。
 - Winter 2012
 - CA Technologies
5. [次へ]をクリックして、ウィザードの手順を実行します。
[セキュリティ オプション]ページが表示されます。
6. [セキュリティ設定]オプションを選択して、プロファイル別にユーザ アクセスを設定します。
7. この手順の最初に指定されたアクセスレベルを該当するプロファイルに設定し、[次へ]をクリックして続行します。たとえば、Agile Vision スーパーユーザとして、Agile Vision スーパー ユーザのアクセスレベルを設定します。
8. [次へ]をクリックして、続行します。

9. [インストール]をクリックします。

ユーザのリクエストが進行中であることを示す、[処理中]ページが表示されます。インストールが完了すると、Salesforce.com から現在ログインしているユーザの電子メール アドレスに電子メール通知が送信されます。

Force.com プラットフォームの現在の負荷に応じて、このインストーラには 30 分以上かかる場合があります。

既定では、CA Agile Vision および CA Product Vision の両方が有効です。これらのサービスの一方のライセンスのみを購入された場合は、以下の手順に従って、もう一方を無効にしてください。

次の手順に従ってください:

1. Agile Vision ホーム ページから、[設定]をクリックします。

[個人設定]ページが表示されます。

2. [アプリケーションの設定]メニューから[インストール済みパッケージの参照]を選択します。

3. CA Technologies - PPM バージョン 3.0 がインストールされていることを確認します。

4. CA Technologies - PPM パッケージ名をクリックします。

[パッケージの詳細]ページが表示されます。

5. [インストール済みパッケージの詳細]セクションで[デプロイ]をクリックします。

パッケージコンポーネントが表示された[パッケージのデプロイ]ページが表示されます。

6. [デプロイ]を再度クリックします。

7. ブラウザ ウィンドウのアドレス バーに以下の URL を入力します。

<https://ca-agile.na7.visual.force.com/apex/PackageSettings>

8. 以下のいずれかを実行して、[保存]をクリックします。

- CA Product Vision のライセンスのみ所有している場合は、Agile Vision のチェック ボックスをオフにします。
- CA Agile Vision および CA Product Vision の両方のライセンスがある場合は、両方のチェック ボックスをオンにしておきます。

製品が完全に展開されました。

CA Product Vision の設定

インストール後に、以下の手順を完了し、CA Product Vision を設定します。

1. CA Product Vision にログインし、[設定]メニューをクリックします。
[個人設定]ページが表示されます。
2. [管理者設定]メニューから[ユーザの管理]を選択し、プロフィールに移動します。
ユーザ プロファイル ページが表示されます。
3. CA Product Vision のインストール準備中に作成した新規プロフィールの[氏名]リンクをクリックします。
プロフィール ページが表示されます。
4. [カスタム App]セクションまでスクロールし、Agile Vision コアの[既定値]オプションを選択します。
5. [保存]をクリックし手順を繰り返して、Agile Vision コアを作成した各新規プロフィールのデフォルトの app に設定します。

CA Product Vision を使用できるように既存のプロフィールを設定

既存の Salesforce.com ユーザプロフィールに CA Agile Vision または CA Product Vision のオブジェクトへのアクセス権を付与するには、プロフィールを編集し、オブジェクトへの読み取りまたは書き込み権限を付与します。プロフィールには、アプリケーションを構成する Visualforce ページの実行許可も必要です。インストールプロセスの開始時に作成したプロフィールを使用して、必要な権限のセットを決定し、必要な設定にコピーします。

詳細については、Force.com プラットフォームのドキュメントを参照してください。

OOTB チャートおよびレポートの表示権限の設定

ビジョンパブリックダッシュボードでは、すべてのプロファイルの設定が必要です。ユーザが Agile Vision ダッシュボード、または Product Vision ダッシュボードからチャートおよびレポートを表示できるように、管理者がプロファイルを設定する必要があります。

次の手順に従ってください:

1. システム管理者としてログインし、[セットアップ]をクリックします。
2. [ダッシュボード]をクリックし、Agile Vision ダッシュボードなどの Vision ダッシュボードの 1 つを開きます。
3. [編集]をクリックします。
ダッシュボード編集オプションのページが表示されます。
4. ダッシュボード表示設定用のフィールドに「*(アスタリスク)」を入力して、アクティブなユーザをフィルタします。管理者権限のないユーザ ID を選択します。
5. [保存]をクリックします。
6. [ダッシュボードの表示]フィールドの隣にある下矢印キーをクリックし、[ログインユーザとして実行]を選択します。
7. [OK]をクリックします。
8. この手順の最後にある表に従って、Salesforce プラットフォーム プロファイルを設定します。
 - a. [セットアップ]ページに戻り、[ユーザの管理]、次に[プロファイル]を展開します。
 - b. プロファイルの名前をクリックし、[編集]をクリックします。
 - Vision スーパーユーザ
 - Vision ユーザ
 - Agile Vision スーパーユーザ
 - Agile Vision ユーザ
 - Product Vision スーパーユーザ
 - Product Vision ユーザ
 - c. [管理権限]までスクロールして、前のテーブル内の値に基づいて権限を選択またはクリアします。

- d. [一般ユーザ権限]までスクロールして、前のテーブル内の値に基づいて権限を選択またはクリアします。
- e. [保存]をクリックし、各プロファイルについて必要に応じてこの手順を繰り返します。

ユーザ ID にプロファイルを割り当てると、割り当てられたユーザはビジョンパブリックダッシュボード上でのチャートおよびレポートへのアクセス権限を与えられます。ユーザは、プロファイルに関連付けられた権限に基づき、表示、変更、クローン、その他のアクションの実行が可能です。

権限タイプ	スーパー ユーザ	一般ユーザ
管理		
パブリックレポートの管理	はい	いいえ
ダッシュボードの管理	はい	はい
ダイナミックダッシュボードの管理	はい	はい
一般ユーザ		
レポートの作成およびカスタマイズ	はい	はい
レポートビルダ	はい	はい
レポートの実行	はい	はい
レポートのエクスポート	はい	はい
ダッシュボードビルダのドラッグアンドドロップ	はい	はい
チームに割り当てられたダッシュボードの表示	はい	はい

第 3 章: 以前のリリースからのアップグレード

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[Spring 2011 \(Version 2.10\) から CA Product Vision Winter 2012 \(Version 3.0\) へのアップグレード方法 \(P. 17\)](#)

[CA Product Vision Winter 2011 A1 から Spring 2011 へのアップグレード方法 \(P. 20\)](#)

[バージョン 2.8 から CA Product Vision バージョン 2.10 へのアップグレード \(P. 30\)](#)

Spring 2011 (Version 2.10) から CA Product Vision Winter 2012 (Version 3.0) へのアップグレード方法

このセクションでは、CA Agile Vision と CA Product Vision の両方が有効になっている Winter 2012 のインスタンスを、CA Agile Vision と CA Product Vision を有効にしたまま Spring 2011 リリースへアップグレードする方法について説明します。

重要: CA Agile Vision および CA Product Vision Winter 2012 へのアップグレードは、CA Clarity 用の CA Vision アドインへのアップグレードと同時にを行うようにしてください。これは、リリースレベルを同じにするためです。

必須: バージョン 2.10 からのアップグレード。以前のリリースがインストールされている場合、V3.0 にアップグレードする前に V2.10 にアップグレードする必要があります。

次の手順に従ってください:

1. システム管理者として [Salesforce.com](#) にログインします。
2. [Winter 2012 リリースのインストール](#) (P. 11)
3. [パッケージを展開します。](#) (P. 13)
4. [ユーザ プロファイルを更新します](#) (P. 18)。
5. アップグレード ジョブを実行します。

ユーザ プロファイルの更新

この手順では、以下のプロファイルに対する Apex クラス アクセスの更新方法を説明します。

- Agile Vision スーパーユーザ
- Agile Vision ユーザ
- Product Vision スーパーユーザ
- Product Vision ユーザ
- Vision スーパーユーザ
- Vision ユーザ

注: 以下のセクションの各ユーザ プロファイルで更新するページのリストにおいて、ネームスペース(プレフィクス) **ca_agile** は含まれていません。このプレフィクスはユーザ インターフェース内の各ページ名に付けられます。

ユーザ プロファイルを更新する方法

1. [セットアップ]をクリックします。
[個人設定]ページが表示されます。
2. [管理セットアップ]メニューから[ユーザの管理]をクリックして展開し、[プロファイル]をクリックします。
プロファイル リスト ページが表示されます。
3. プロファイルのオブジェクト アクセスを更新するには、以下の手順に従います。
 - a. ユーザ プロファイルをリスト内で探し、プロファイル名をクリックします。
プロファイル ページが表示されます。
 - b. [Enabled Apex Class Access]リンクの上にマウスを移動させ、[編集]をクリックします。
[Enabled Apex Class Access]ページが表示されます。
 - c. 利用可能な Apex クラスから **XMLObjectField** を選択し、[追加] (右矢印) をクリックして、クラスを有効化された Apex クラスに追加します。
 - d. [保存]をクリックし、ユーザのリストに戻ります。
4. すべてのプロファイルに対してこの手順を実行します。

アップグレード ジョブ (Winter 2012) の実行

新しいパッケージへのアップグレードを完了するには、アップグレード ジョブを実行します。

次の手順に従ってください:

1. システム管理者としてログインします。
2. [セットアップ]をクリックして、Salesforce.com セットアップ ページを開きます。
3. ページ ヘディングから、ログインに使用したユーザ名をクリックし、システム ログを選択します。
4. [Execute Apex]セクションのテキスト フィールドに以下のステートメントをコピーし、[Execute]をクリックします。

注: Salesforce.com では、最大 5 つのジョブを同時に実行できます。ジョブステートメントは、3 つぐらいのグループ単位で貼り付けます。

CA Agile Vision および CA Product Vision の両方をアップグレードする場合は、以下のジョブを実行します。

```
Database.executeBatch(new ca_agile.ProductMigrationJob());  
Database.executeBatch(new ca_agile.TaskMigrationJob());  
Database.executeBatch(new ca_agile.TeamDailyDataMigrationJob());
```

```
Database.executeBatch(new ca_agile.FilterPageNameMigrationJob());  
Database.executeBatch(new ca_agile.ReleaseDescriptionMigrationJob());  
Database.executeBatch(new  
ca_agile.RequirementClosedDateUpgradeJob('ca_agile'),200);
```

CA Product Vision のみをアップグレードする場合は、以下のジョブを実行します。

```
Database.executeBatch(new ca_agile.FilterPageNameMigrationJob());  
Database.executeBatch(new ca_agile.ReleaseDescriptionMigrationJob());  
Database.executeBatch(new  
ca_agile.RequirementClosedDateUpgradeJob('ca_agile'),200);
```

5. [セットアップ]ページから、[管理者設定] - [監視] - [Apex ジョブ]を展開し、正常に完了するまでサブミットしたジョブをモニタします。
6. CA Product Vision にログインし、[ホーム]ページを開きます。

CA Agile Vision および CA Product Vision ジョブが自動的に再スケジュールされます。

CA Product Vision Winter 2011 A1 から Spring 2011 へのアップグレード方法

このセクションでは、CA Agile Vision と CA Product Vision の両方が有効になっている Winter 2011 A1 のインスタンスを、Spring 2011 リリースへアップグレードする方法について説明します。

1. Spring 2011 リリースをインストールおよびデプロイします。
CA Agile Vision および CA Product Vision のインストール手順に従って、Spring 2011 リリース パッケージをインストールし、パッケージをデプロイします。
2. [カスタム値を選択リスト値にコピーします](#) (P. 20)。
3. ユーザ プロファイルを更新します。
4. [インボックスをアップグレードします](#) (P. 28)。
5. [アップグレードジョブを実行します](#) (P. 29)。

選択リスト値へのカスタム値のコピー

この手順では、要件の状態、要件のカテゴリ、および製品の状態に関する任意のカスタム値を選択リスト値に移行する方法について説明します。

次の手順に従ってください：

1. システム管理者としてログインします。
2. 組織内にあるカスタムの要件の状態、要件のカテゴリ、および製品の状態をすべて表示します。

新しい選択リスト値と比較する値のリストが必要になります。利用可能な状態とカテゴリをすべて検索するには、以下の手順に従います。

- a. [管理]メニューから[設定]をクリックします。
- b. [要件の状態]、[要件カテゴリ]、または[製品状態]をクリックします。
- c. 値のタイプごとに表示される値をメモしておきます。

3. 値のいずれかのタイプについてカスタム値が見つかった場合は、[カスタムオブジェクト]ページを開き、以下の手順に従って値を移行します。
 - a. [セットアップ]をクリックします。
[個人設定]ページが表示されます。
 - b. [アプリケーションの設定]メニューから[作成]をクリックして展開し、[オブジェクト]をクリックします。
[カスタム オブジェクト]ページが表示されます。
4. [カスタム オブジェクト]ページを開いた状態で、以下の手順に従って要件の状態値を更新します。
 - a. 要件カスタム オブジェクトを探し、[要件]リンクをクリックします。
[Requirement (Managed)]ページが表示されます。
 - b. [Custom Fields & Relationships]セクションで、[状態]リンクを探してクリックします。
[State (Managed)]ページが表示されます。
 - c. [Picklist Values]セクションで、見つかった値を、作成したリストにある要件の状態と比較します。
 - d. [Picklist Values]セクションに表示されない要件の状態がある場合は、[新規]をクリックし、存在しない要件の状態を追加します。
注: カスタムの要件の状態は個々に追加する必要があります。
5. [カスタム オブジェクト]ページを開いた状態で、以下の手順に従って要件のカテゴリ値を更新します。
 - a. 要件カスタム オブジェクトを探し、[要件]リンクをクリックします。
[Requirement (Managed)]ページが表示されます。
 - b. [Custom Fields & Relationships]セクションで、[カテゴリ]リンクを探してクリックします。
[Category (Managed)]ページが表示されます。
 - c. [Picklist Values]セクションで、見つかった値を、作成したリストにある要件のカテゴリと比較します。
 - d. [Picklist Values]セクションに表示されない要件カテゴリがある場合は、[新規]をクリックし、存在しない要件のカテゴリを追加します。
注: カスタムの要件のカテゴリは個々に追加する必要があります。

6. [カスタム オブジェクト] ページを開いた状態で、以下の手順に従って製品の状態値を更新します。
 - a. 製品カスタム オブジェクトを探し、[製品] リンクをクリックします。
[Product (Managed)] ページが表示されます。
 - b. [Custom Fields & Relationships] セクションで、[状態] リンクを探してクリックします。
[State (Managed)] ページが表示されます。
 - c. [Picklist Values] セクションで、見つかった値を、作成したリストにある製品の状態と比較します。
 - d. [Picklist Values] セクションに表示されない製品の状態がある場合は、[新規] をクリックし、存在しない製品の状態を追加します。

注: カスタムの製品の状態は個々に追加する必要があります。

ユーザ プロファイルの更新

この手順では、以下のプロファイルについて基本的なオブジェクト アクセスおよびページ アクセスを更新する方法について説明します。

- Agile Vision スーパーユーザ
- Agile Vision ユーザ
- Product Vision スーパーユーザ
- Product Vision ユーザ
- Vision スーパーユーザ
- Vision ユーザ

更新方法は手順の中で示します。また、各プロファイルで更新するオブジェクト アクセスおよびページ アクセスの値は、手順に続くセクションの中で示します。

注: 以下のセクションの各ユーザ プロファイルで更新するページのリストにおいて、ネームスペース(プレフィクス) *ca_agile* は含まれていません。このプレフィクスはユーザ インターフェース内の各ページ名に付けられます。

ユーザ プロファイルを更新する方法

1. [セットアップ] をクリックします。
[個人設定] ページが表示されます。

2. [管理セットアップ]メニューから[ユーザの管理]をクリックして展開し、[プロフィール]をクリックします。
プロフィールリスト ページが表示されます。
3. プロファイルのオブジェクト アクセスを更新するには、以下の手順に従います。
 - a. ユーザ プロファイルをリスト内で探し、[編集]をクリックします。
プロフィールの編集ページが表示されます。
 - b. ユーザ プロファイルの[Custom Object Permissions]セクションにスクロールし、表に示す追加アクセスの選択または削除を行います。
追加は X でマークされ、削除はテキストで示されています。
 - c. 作業が完了したら、[保存]をクリックします。
プロフィールリスト ページが表示されます。
4. プロファイルのページアクセスを更新するには、以下の手順に従います。
 - a. ユーザ プロファイルをプロフィールリスト内で探し、ユーザ プロファイルの名前をクリックします。
プロフィールの詳細ページが表示されます。
 - b. Visualforce ページへのアクセスの有効化セクションにスクロールし、[編集]をクリックします。
 - c. Visualforce ページへのアクセスの有効化リスト ボックスで、矢印キーを使ってページを追加または削除します。
追加または削除するページは、この手順に続く各プロフィール セクションの中で示します。
 - d. 完了したら[保存]をクリックし、[Back to List: Profiles]をクリックします。

Agile Vision スーパーユーザ

オブジェクト アクセス

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
フィルタ フィールド	X	X	X	X		
フィルタ	X	X	X	X		

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
リリースリソース	X					
ユーザストーリー リリース	X	X	X	X		

ページアクセス

- 追加: TreeEditorGridJs

Agile Vision ユーザ

オブジェクトアクセス

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
フィルタフィールド	X	X	X	X		
フィルタ	X	X	X	X		
リリースリソース	X					
スプリントチーム			チェックマークの削除			
ユーザストーリー リリース	X	X	X	X		

ページアクセス

- 追加: TreeEditorGridJs

Product Vision スーパーユーザ

オブジェクトアクセス

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
フィルタフィールド	X	X	X	X		

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
フィルタ	X	X	X	X		

ページアクセス

- ページアクセスへの変更はありません。

Product Vision ユーザ

オブジェクトアクセス

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
フィルタ フィールド	X	X	X	X		
フィルタ	X	X	X	X		
地域	X	X	X	X		
業種	X	X	X	X		

ページアクセス

- 追加: TopThemesJs

Vision スーパーユーザ

オブジェクトアクセス

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
承認基準					チェック マークの 削除	チェック マークの 削除
バックログ フィルタ					チェック マークの 削除	チェック マークの 削除

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
バックログ フィルタ アイテム					チェック マークの 削除	チェック マークの 削除
エピック					チェック マークの 削除	チェック マークの 削除
フィルタ フィールド	X	X	X	X		
地域	X	X	X	X	X	X
業種	X	X	X	X	X	X
フィルタ	X	X	X	X		
リリースリソース		チェック マークの 削除	チェック マークの 削除	チェック マークの 削除	チェック マークの 削除	チェック マークの 削除
ストーリー依存性					チェック マークの 削除	チェック マークの 削除
タスク					チェック マークの 削除	チェック マークの 削除
タスク作業ログ					チェック マークの 削除	チェック マークの 削除
チーム日次データ					チェック マークの 削除	チェック マークの 削除
テストケースのステッ プ	X					
テーマ					チェック マークの 削除	チェック マークの 削除
ユーザストーリー リリース	X	X	X	X		

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
ユーザ通知					X	X
ユーザストーリー					チェック マークの 削除	チェック マークの 削除

ページアクセス

- 削除: AveeUpgrade

Vision ユーザ

ページアクセス

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
Agile Vision ユーザ			X			
フィルタ フィールド	X	X	X	X		
地域	X	X	X	X		
業種	X	X	X	X		
フィルタ	X	X	X	X		
リリースリソース		チェック マークの 削除	チェック マークの 削除	チェック マークの 削除		
スプリントチーム			チェック マークの 削除			
テストケースのステップ	X					
テーマ					チェック マークの 削除	チェック マークの 削除

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
ユーザストーリー リリース	X	X	X	X		

ページアクセス

- 追加: AgilePlannerUserDetail
- 追加: AgilePlannerUserEdit
- 追加: PersonaDetail
- 追加: PersonaEdit
- 追加: SprintTeamDetail
- 追加: TaskDetailJs
- 追加: UserStoryCommentDetail
- 削除: AveyUpgrade
- 削除: TopAgilePlannerUser
- 削除: TopCategories
- 削除: TopSprintList

インボックスのアップグレード

CA Idea Vision がインストールされている場合、アイデアを CA Idea Vision 内の製品および要件にリンクするには、事前にすべてのアイデアを CA Product Vision と CA Idea Vision の間で同期する必要があります。

アイデアを同期するには、[Product Vision]メニューを開き、[概要]メニューから [インボックス]を選択します。アイデアが同期されていることを示す情報メッセージが表示されます。同期ジョブが完了するまで数分かかる場合があります。

アップグレード ジョブの実行

アップグレード ジョブの実行方法

1. システム管理者としてログインします。
2. [セットアップ]をクリックします。
[個人設定]ページが表示されます。
3. **Spring_2011_Release** をクリックしてメニューを表示し、システム ログをクリックします。

システム ログのページが表示されます。

4. 以下のステートメントを、[Execute Apex]セクションのテキストフィールドにコピーします。

```
Database.executeBatch(new  
ca_agile.IdeaVisionDataMigrationStep1Job('ca_agile'), 200);  
Database.executeBatch(new  
ca_agile.IdeaVisionDataMigrationStep2Job('ca_agile'), 200);  
Database.executeBatch(new  
ca_agile.RequirementCustomValueDataMigrationJob('ca_agile'), 200);  
Database.executeBatch(new  
ca_agile.ProductCustomValueDataMigrationJob('ca_agile'), 200);  
Database.executeBatch(new ca_agile.RequirementIDDDataMigrationJob('ca_agile'),  
200);
```

5. [Execute]をクリックします。

各ジョブが完了すると、電子メール通知が送信されます。最後のメールを受信したら、データの移行は完了です。

バージョン 2.8 から CA Product Vision バージョン 2.10 へのアップグレード

パッケージをインストールおよび展開して、CA Product Vision バージョン 2.10 にアップグレードします。

必須: バージョン 2.8 からのアップグレード。以前のリリースがインストールされている場合、V2.10 にアップグレードする前に V2.8 にアップグレードする必要があります。」

重要: CA Agile Vision および CA Product Vision Spring 2011 (バージョン 2.10) へのアップグレードは、CA Clarity 用の CA Vision アドインへのアップグレードと同時にを行うようにしてください。これは、リリースレベルを同じにするためです。

CA Product Vision のアップグレードでは、管理者が複数のタスクを準備、アップグレード、および展開する必要があります。アップグレードプロセスのハイレベルタスクには以下が含まれます。

次の手順に従ってください:

1. CA Product Vision のアップグレード。
2. CA Product Vision の展開。

CA Product Vision のアップグレード準備。

CA Product Vision を Spring 2011 から Spring 2011 パッチにアップグレードする前に、以下の設定手順を完了する必要があります。

次の手順に従ってください:

1. CA Product Vision ホーム ページから、[セットアップ]をクリックします。
Salesforce.com の[個人設定]ページが表示されます。
2. [管理者設定]メニューから[監視]をクリックし、[スケジュール済みジョブ]に移動します。
[All Scheduled Jobs]ページが表示されます。
3. 以下のジョブが存在する場合は削除します。
 - リリースの[日次チャート]データポイントの生成
 - スプリントの[日次チャート]データポイントの生成

CA Product Vision のアップグレード

パッケージをアップグレードします。

次の手順に従ってください:

1. ブラウザ ウィンドウのアドレスバーに以下の URL を入力します。テスト環境へインストールする場合は、URL の「login.salesforce.com」を「test.salesforce.com」に置き換えてください。
https://login.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04tA00000000Jhn1
2. [ログイン] ページで、システム管理者のユーザ名およびパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。
3. このバージョンの CA Product Vision にアップグレードするために提供されたパスワードを入力し、[保存して終了] をクリックします。必要なパスワードがない場合は、[CA サポート](#) にご連絡ください。

CA Product Vision の新旧バージョンが表示されたアップグレードのサマリが表示されます。

4. [続行] をクリックして、アップグレード ウィザードの手順を完了し、[次へ] をクリックします。
[セキュリティ オプション] ページが表示されます。
5. [セキュリティ設定] オプションを選択して、プロファイル別にユーザ アクセスを設定します。

アクセス レベル	プロファイル
Agile Vision スーパーユーザ	Agile Vision スーパーユーザ
Agile Vision ユーザ	Agile Vision ユーザ
Product Vision スーパーユーザ	Product Vision スーパーユーザ
Product Vision ユーザ	Product Vision ユーザ
Vision スーパーユーザ	Vision スーパーユーザ
Vision ユーザ	Vision ユーザ

6. [次へ]をクリックして、続行します。
7. 次のチェック ボックスをオンにします: [インストール済みのアプリケーションが正常に機能しない原因となる Apex テスト失敗を無視する]
8. [インストール]をクリックします。

ユーザのリクエストが進行中であることを示す、[処理中]ページが表示されます。アップグレードの完了後、Salesforce.com から現在ログインしているユーザ名の電子メール アドレスに電子メール通知が送信されます。

Force.com プラットフォームの現在の負荷に応じて、このアップグレードには 30 分以上かかる場合があります。
9. ログアウトしてから、システム管理者として再度ログインし、スケジュールしたジョブを実行します。
10. [セットアップ]ページに移動し、[管理者設定]の[監視]メニューから[スケジュール済みジョブ]を選択します。
11. [提出者]ユーザがシステム管理者であることを確認します。[提出者]ユーザがシステム管理者ではない場合は、ジョブを削除し、ログアウト後、システム管理者としてログインします。

CA Product Vision のデプロイ

注: Salesforce.com で自動的にパッケージが展開される場合、[展開]ボタンは無効になります。また、残りの手順をスキップできます。[展開]ボタンが有効な場合、このセクションの手順に従ってパッケージを展開します。

1. Agile Vision ホーム ページから、[設定]をクリックします。

[個人設定]ページが表示されます。
2. [アプリケーションの設定]メニューから[インストール済みパッケージの参照]を選択します。
3. CA Technologies - PPM バージョン 2.10 がインストールされていることを確認します。
4. CA Technologies - PPM パッケージ名をクリックします。

[パッケージの詳細]ページが表示されます。
5. [インストール済みパッケージの詳細]セクションで[デプロイ]をクリックします。

パッケージコンポーネントが表示された[パッケージのデプロイ]ページが表示されます。

6. [デプロイ]を再度クリックします。
7. ブラウザ ウィンドウのアドレスバーに以下の URL を入力します。
`https://ca-agile.na7.visual.force.com/apex/PackageSettings`
8. 以下のいずれかを実行して、[保存]をクリックします。
 - CA Agile Vision のライセンスのみがある場合は、[Product Vision]チェックボックスをオフにします。
 - CA Product Vision のライセンスのみがある場合は、[Agile Vision]チェックボックスをオフにします。
 - CA Agile Vision および CA Product Vision の両方のライセンスがある場合は、両方のチェックボックスをオンにしておきます。

CA Product Vision が完全に展開されました。

第 4 章: CA Vision アドイン

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[CA Agile Vision アドインのダウンロード](#) (P. 35)

[CA Vision アドインのインストール](#) (P. 36)

[CA Clarity 用の CA Vision アドインのアップグレード](#) (P. 36)

[CA Vision のプロセスとジョブの無効化](#) (P. 37)

[CA Vision アドインの設定](#) (P. 37)

CA Agile Vision アドインのダウンロード

このセクションでは、以下に示す CA Agile Vision および CA Product Vision の統合用に [CA サポート](#) からアドインをダウンロードする手順について説明します。

- CA Clarity
- JIRA
- HP Quality Center

アドインのダウンロード後、それをインストールする手順の詳細については、「CA Agile Vision 統合ガイド」を参照してください。

CA Vision アドインのダウンロード方法

1. ご自分の CA 電子メール アドレスとパスワードで、support.ca.com にログインします。
2. [Support]メニューから[Download Center]をクリックします。
[Download Center]ページが表示されます。
3. 以下の製品情報を選択し、[Go]をクリックします。
 - CA Agile Vision Enterprise Edition Integration - FORCE.COM
 - Release 3.0
 - Gen level 0000[Product Downloads]ページが表示されます。

4. [Product Components]セクションまでスクロールし、以下の zip ファイルの隣の[Download]をクリックします。
 - GEN04094115E.zip - JIRA および CA Agile Vision 統合用のアドインのダウンロード
 - GEN04094329E.zip - HP Quality Center および CA Agile Vision 統合用のアドインのダウンロード
 - GEN4094445E.zip - CA Clarity PPM および CA Agile Vision 統合用のアドインのダウンロード

CA Vision アドインのインストール

CA Vision アドインをインストールする方法

1. Clarity システム管理 (NSA) アプリケーションにログインします。
2. CA Clarity アプリケーション (app) およびバックグラウンド (bg) サービスをシャットダウンします。

詳細については、「CA Clarity インストール ガイド」を参照してください。
3. Clarity アプリケーション サーバに CA Vision アドインをインストールします。

詳細については、CA Agile Vision および CA Agile Vision の「統合ガイド」を参照してください。
4. Clarity app と bg サービスを再起動します。

CA Clarity 用の CA Vision アドインのアップグレード

以下の手順では、CA Clarity システム管理者が CA Vision アドイン バージョン 2.5.3 を CA Vision アドイン Winter 2011 バージョン 2.8 にアップグレードする方法について説明します。

1. 最新の CA Vision アドインをインストールします。
2. CA Vision のプロセスとジョブを無効にします。
3. CA Vision アドインを適用します。
4. CA Vision アドインを設定します。

CA Vision のプロセスとジョブの無効化

CA Clarity でプロセスとジョブを無効にする方法

1. CA Clarity アプリケーションにログインします。
2. [パーソナル]メニューから[レポートとジョブ]を選択します。
3. [ジョブ]をクリックして[スケジュール済みジョブ]に移動し、以下に示すジョブのスケジュール済みインスタンスをすべて削除します。
 - CA Vision 製品同期
 - Agile Vision タイムシート同期
4. 一覧表示されているジョブの実行中のインスタンスがないことを確認します。
5. [パーソナル]メニューから[オーガナイザ]を選択します。
アクション アイテムリストが表示されます。
6. [プロセス]をクリックし、[開始済み]に移動します。「実行中」または「停止中」の状態にある任意の AV フィールド ロック プロセス インスタンスをキャンセルします。

CA Vision アドインの設定

CA Vision アドインを設定する方法

1. 以下の手順に従ってプロジェクト オブジェクトを開きます。
 - a. CA Clarity 管理ツールで、[CA Clarity Studio]メニューから[オブジェクト]を選択します。
 - b. プロジェクト オブジェクト名を使用してフィルタします。
オブジェクトリストが表示されます。
 - c. プロジェクト オブジェクトをクリックして開きます。

2. 以下の手順に従って、[CA Vision にリンク済み]属性のラベルを変更します。
 - a. コンテンツメニューから[ビュー]をクリックし、プロジェクト プロパティ ビューの[フィールド]リンクをクリックします。
プロパティフィールドリストが表示されます。
 - b. [CA Vision にリンク済み]属性について、プロパティラベルを「CA Vision にリンク済み」に変更し、[保存して終了]をクリックします。
オブジェクト定義ビューが表示されます。
3. [CA Vision にリンク済み]属性の[必須]要件を削除します。
 - a. コンテンツメニューから[属性]をクリックし、[CA Vision にリンク済み]属性をクリックします。
 - b. [Presence Required]チェック ボックスをオフにし、[保存して終了]をクリックします。
4. 以下の手順に従って、[CA Vision にリンク済み]属性をユーザ インターフェース内で使用できるようにします。
 - a. コンテンツメニューから[ビュー]をクリックし、プロジェクト プロパティ ビューの[Layout: Edit]リンクをクリックします。
プロパティレイアウトが表示されます。
 - b. 概要プロパティを展開し、[概要]セクションの[プロパティとレイアウト]アイコンをクリックします。
セクションのプロパティが表示されます。
 - c. [選択済み](左の列)から[CA Vision にリンク済み]を選択し、それを[利用可能]に移動して、[保存して終了]をクリックします。
プロパティレイアウトが表示されます。
 - d. [戻る]をクリックしてオブジェクト定義ビューに移動します。
5. 以下の手順に従って、[CA Vision にリンク済み]属性の[必須]要件をリセットします。
 - a. コンテンツメニューから[属性]をクリックし、[CA Vision にリンク済み]属性をクリックします。
 - b. [Presence Required]チェック ボックスをオンにし、[保存して終了]を選択します。
オブジェクト定義属性が表示されます。

6. 以下の手順に従って、プロジェクトプロパティビューの属性リストの最上位に[CA Vision にリンク済み]属性を配置します。
 - a. コンテンツメニューから[ビュー]をクリックし、プロジェクトプロパティビューの[Layout: Edit]リンクをクリックします。
プロパティレイアウトが表示されます。
 - b. 概要プロパティを展開し、[概要]セクションの[プロパティとレイアウト]アイコンをクリックします。
 - c. [選択済み](左の列)から[CA Vision にリンク済み]を選択し、それを[選択済み](左の列)の最上位に移動して、[保存して終了]をクリックします。
プロパティレイアウトが表示されます。
 - d. [戻る]をクリックしてオブジェクト定義ビューに移動します。
7. 以下の手順に従って、プロジェクトプロパティビューの[統合ステータス]セクションをセットアップします。
 - a. コンテンツメニューから[ビュー]をクリックし、プロジェクトプロパティビューの[Layout: Edit]リンクをクリックします。
プロパティレイアウトが表示されます。
 - b. CA Vision プロジェクトプロパティを展開し、[統合ステータス]セクションを展開します。
 - c. [統合ステータス]セクションの[プロパティとレイアウト]アイコンをクリックします。
セクションのプロパティが表示されます。
 - d. [保存して終了]をクリックします。
プロパティレイアウトが表示されます。
 - e. [戻る]をクリックします。
オブジェクト定義ビューが表示されます。

8. [発行]をクリックしてビューを発行します。
確認のプロンプトが表示されます。[はい]をクリックして、ビューの発行を確認します。
9. 事前定義されたレベルで実行されるように以下のジョブを再スケジュールします。
 - CA Vision 製品同期
 - Agile Vision 作業ログ同期
10. Clarity app と bg サービスを再起動します。

第 5 章: CA Agile Vision のみのアップグレード後に CA Product Vision を設定する方法

このセクションでは、CA Agile Vision のみアップグレードされた組織に Product Vision が含まれている場合に、CA Product Vision のすべての機能を有効にする方法について説明します。CA Product Vision ライセンスを購入し、[パッケージの設定] ページで有効にした後、CA Agile Vision のみの組織で自動的に利用可能でない以下のユーザ プロファイルを作成する必要があります。

- Product Vision ユーザ
- Product Vision スーパーユーザ
- Vision ユーザ
- Vision スーパーユーザ

ベストプラクティス: 表示されている順にプロファイルを作成します。

Product Vision スーパー ユーザ プロファイルの作成

Product Vision スーパー ユーザ プロファイルは Product Vision ユーザに基づいています。そのため、Product Vision ユーザでの選択内容は、このユーザ用にすでに選択されています。この手順ではスーパーユーザに必須の追加の設定について説明します。

Product Vision スーパー ユーザ プロファイルを作成する方法

1. 以下の操作を完了して[ユーザ プロファイル] ページを開きます。
 - a. アプリケーション ヘッダ 上の[設定] をクリックします。
 - b. 左のパネルの[管理者設定] セクションでは、[ユーザの管理] をクリックし、次に、プロファイルをクリックします。
リスト ページが表示されます。
2. [新規] をクリックします。
プロファイルの複製 ページが表示されます。

- 以下のフィールドに入力します。

既存のプロファイル

新規プロファイルのベースとする既存のユーザ プロファイルを指定します。Product Vision ユーザを選択します。

プロファイル名

新規ユーザ プロファイルの名前を指定します。「Product Vision スーパー ユーザ」と入力します。

- [保存]をクリックします。
新規ユーザのプロファイル詳細ページが表示されます。
- プロファイルの詳細ページの一番上で[編集]をクリックします。
- [Custom Object Permissions]セクションで、以下のオブジェクト アクセスの表に示す追加の選択を行います。
- [保存]をクリックします。
プロファイルの詳細ページが表示されます。
- プロファイルの詳細ページの Visualforce ページへのアクセスの有効化セクションで、[編集]をクリックします。
- 以下のページ アクセスの表に示す Visualforce ページを、有効にした Visualforce ページリストに追加します。それには、使用可能な Visualforce ページリストで Visualforce ページを選択し、[選択済み]リストに移動します。
- [保存]をクリックします。

Product Vision のスーパーユーザ オブジェクト アクセスおよびページ アクセス

オブジェクト アクセス

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
承認基準						
Agile Vision ユーザ		X	X	X	X	X
バックログ フィルタ						

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
承認基準						
バックログ フィルタ アイテム						
ベースライン						
ベースライン の差異						
カテゴリ						
コメント						
会社						
エピック						
フィーチャー						
フィルタ フィールド						
地域					X	X
インボックス						
業種					X	X
フィルタ						
マスタ リリース						X
マスタ リリース製品						X
マスタ リリースリソース						
移行						
ペルソナ					X	X
ペルソナ ソース					X	X
製品						
製品フィーチャー	X	X	X	X		
製品インボックス						
製品ペルソナ						
Product 製品						

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
承認基準						
製品ソース						
製品の状態		X	X	X		
QC フォルダ						
QC プロジェクト						
リリース						
リリースリソース						
リリース スナップショット詳細						
要件						
要件 ClarityTasks						
要件フィーチャー						
要件フラット						
要件アイデア						
要件インボックス						
要件マスタリリース						X
要件ペルソナ						
要件製品						
要件ロール					X	X
要件ソース						
要件の状態						
要件 UseCases						
ロール		X	X	X	X	X
セクション						X
ソース					X	X
ソース インボックス						

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
承認基準						
スプリント						
スプリント チーム						
ストーリー依存性						
タスク						
タスク作業ログ						
チーム						
チーム日次データ						
チーム メンバ						
テスト ケース						
テスト ケースのステップ						
テーマ						
トレーサビリティ マトリクス						
ユース ケース						
ユーザ ストーリー リリース						
ユーザ ストーリー テーマ						
ユーザ通知						
ユーザ ストーリー						
ビュー						X
フィールドの表示						X
仮想ウォール カラー マッピング						

ページ アクセス

注: org プレフィックスはリストのページ名には含まれていません。

AgilePlannerUserDetail

AgilePlannerUserEdit

CustomFieldConfiguration

MasterReleaseDetail

MasterReleaseEdit

PropertyViewConfiguration

RoleDetail

RoleEdit

TopMasterReleases

TopRoles

TestChartComponentPage

Product Vision ユーザ プロファイルの作成

Product Vision ユーザ プロファイルを作成する方法

1. 以下の操作を完了して[ユーザ プロファイル]ページを開きます。
 - a. アプリケーション ヘッダ 上の[設定]をクリックします。
 - b. 左のパネルの[管理者設定]セクションでは、[ユーザの管理]をクリックし、次に、プロフィールをクリックします。
リスト ページが表示されます。
2. [新規]をクリックします。
プロフィールの複製ページが表示されます。

- 以下のフィールドに入力します。

既存のプロファイル

新規プロファイルのベースとする既存のユーザ プロファイルを指定します。標準プラットフォーム ユーザを選択します。

プロファイル名

新規ユーザ プロファイルの名前を指定します。「Product Vision ユーザ」と入力します。

- [保存]をクリックします。

新規ユーザのプロファイル詳細ページが表示されます。

- フィールドレベル セキュリティ セクションのカスタムのフィールドレベル セキュリティ サブセクションで、以下の項目の設定を行います。それには、[表示]をクリックして項目を開き、[編集]をクリックして既定の設定を変更します。1つの項目の変更が終わるごとに、[保存]をクリックし、次に、[戻る]をクリックしてプロファイルへ戻ります。

製品

読み取り専用列。次のチェック ボックスをオンにします: [外部 ID (内部)]、[JIRA プロジェクト ID (内部)]、[QC Project (Internal)]。

リリース

読み取り専用列。次のチェック ボックスをオンにします: [外部 ID]。

ユーザ ストーリー

読み取り専用列。次のチェック ボックスをオンにします: [外部 ID]。

- プロファイル詳細ページの一番上で[編集]をクリックします。
[編集]ページが表示されます。
- [カスタム App]セクションで、[Agile Vision コア]フィールドで[既定値]オプションを選択します。
- タブ設定セクションのカスタム タブ設定サブセクションで、[CA Technologies PPM]フィールドについて既定値オンを選択し、その他すべてのカスタム タブについて[Tab Hidden]をオンにします。

9. [Administrative Permissions]セクションで、[API Enabled]、[Send Outbound Messages]、および[View Setup and Configuration]をオンにします。このセクションのその他のすべてのチェックボックスはオフのままにします。
10. [保存]をクリックします。

プロファイルの詳細ページが表示されます。
11. プロファイルの詳細ページのレコードタイプ設定セクションで、[ユーザストーリー]の隣の[編集]リンクをクリックし以下の手順を完了します。
 - a. 選択されたレコードタイプリスト内で[マスタ]を選択し、左向(削除)矢印をクリックします。
 - b. 使用可能なレコードタイプリスト内で[問題]および[ユーザストーリー]を選択し、右向(追加)矢印をクリックします。
 - c. [既定値]フィールドで、[ユーザストーリー]を選択します。
 - d. [保存]をクリックします。

プロファイルの詳細ページが表示されます。
12. プロファイル詳細ページの一番上で[編集]をクリックします。

[編集]ページが表示されます。
13. [Custom Object Permissions]セクションで、以下のオブジェクトアクセスの表に示すチェックボックスをオンにします。
14. [保存]をクリックします。

プロファイルの詳細ページが表示されます。
15. プロファイルの詳細ページの[Enabled Apex Class Access]セクションで、[編集]をクリックし、以下を除くすべての Apex クラスを削除します。
 - OrgProvisioningDataMigrationJob
 - OrgProvisioningDataMigrator
16. プロファイルの詳細ページの Visualforce ページへのアクセスの有効化セクションで、[編集]をクリックします。

17. 以下のページアクセスの表に示す Visualforce ページを、有効にした Visualforce ページリストに追加します。それには、使用可能な Visualforce ページリストで Visualforce ページを選択し、[選択済み]リストに移動します。
18. [保存]をクリックします。

Product Vision のユーザ オブジェクト アクセスおよびページ アクセス

オブジェクト アクセス

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
承認基準						
Agile Vision ユーザ	X					
バックログ フィルタ	X					
バックログ フィルタ アイテム	X					
ベースライン	X	X	X	X		
ベースラインの差異	X	X	X	X		
カテゴリ	X					
コメント						
会社	X	X	X	X		
エピック						
フィーチャー	X	X	X	X		
フィルタ フィールド	X	X	X	X		
地域	X	X	X	X		
インボックス	X	X	X	X		
業種	X	X	X	X		
フィルタ	X	X	X	X		
マスタ リリース	X	X	X	X	X	
マスタ リリース製品	X	X	X	X	X	

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
承認基準						
マスタリリースリソース	X					
移行						
製品	X	X	X	X		
製品フィーチャー						
製品インボックス	X	X	X	X		
製品ペルソナ	X	X	X	X		
Product 製品						
製品ソース	X	X	X	X		
製品の状態	X					
QC フォルダ						
QC プロジェクト						
リリース	X	X	X	X		
リリースリソース	X	X	X	X		
リリーススナップショット詳細	X	X	X	X		
要件	X	X	X	X		
要件 ClarityTasks	X	X	X	X		
要件フィーチャー	X	X	X	X		
要件フラット						
要件アイデア	X	X	X	X		
要件インボックス	X	X	X	X		
要件マスタリリース	X	X	X	X	X	
要件オーナー	X	X	X	X		
要件ペルソナ	X	X	X	X		
要件製品	X	X	X	X		

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
承認基準						
要件リリース	X	X	X	X		
要件ロール	X	X	X	X		
要件ソース	X	X	X	X		
要件の状態	X					
要件 UseCases	X	X	X	X		
ロール	X					
セクション	X	X	X	X	X	
ソース	X	X	X	X		
ソース インボックス						
スプリント						
スプリント チーム						
ストーリー依存性						
タスク						
チーム日次データ						
チームメンバ						
テストケース						
テストケースのステップ						
テーマ						
トレーサビリティマトリクス	X	X	X	X		
ユースケース						
ユーザストーリー リリース						
ユーザストーリー テーマ						
ユーザ通知						

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
承認基準						
ユーザストーリー						
ビュー	X	X	X	X	X	
フィールドの表示	X	X	X	X	X	
仮想ウォール カラー マッピング						

ページアクセス

注: org プレフィックスはリストのページ名には含まれていません。

About	ReleaseDetailJs
AcceptanceCriteriaDetail	ReleaseEdit
AcceptanceCriteriaEdit	RequirementDetail
BasicSelectorDataSource	RequirementDetailJs
BlankChartData	RequirementEdit
Chatterfeeds	RequirementMerge
ConfigModalJs	RequirementSelectorDataSource
CurrencyFormattingJS	SearchResults
DetailInterior	SourceDetail
ExtActionStatusPage	SourceDetailJs
FeatureDetail	SourceEdit
FeatureDetailJs	TestCaseTreeSelectorDataSource
FeatureEdit	TopAgilePlannerUser
FilterWindowJs	TopAgilePlannerUserJs
ForceUserSelectorDataSource	TopFeatures
InLineEditFunction	TopFeaturesJs
InboxDetail	TopHome
LicenseError	TopHomeJs
ListTemplate	TopInboxes
LoadMaskJs	TopPVDashboards
MasterTemplate	TopPVHome
MasterTemplateJs	TopPersonas
MultiValuedLookupJs	TopProjects
PageBlockCell	TopProjectsJs
PersonaDetail	TopReleases
PersonaDetailJs	TopReleasesJs
PersonaEdit	TopRequirements
PickerJs	TopRequirementsJs
ProductDetailJs	TopSources
ProductJs	TopThemesJs
ProjectDetail	TreeEditorGridJs
ProjectEdit	UserSelectorDataSource
ReleaseDetail	VelocityChartData
	coreJs

Vision スーパー ユーザ プロファイルの作成

Vision スーパー ユーザ プロファイルは Vision ユーザ プロファイルに基づいています。そのため、Vision ユーザでの選択内容は、このユーザ用にすでに選択されています。この手順では、Vision スーパー ユーザ プロファイルを作成するときに必要な追加の設定について説明します。

次の手順に従ってください:

1. 以下の操作を完了して[ユーザ プロファイル]ページを開きます。
 - a. アプリケーション ヘッダ 上の[設定]をクリックします。
 - b. 左のパネルの[管理者設定]セクションでは、[ユーザの管理]をクリックし、次に、プロフィールをクリックします。
リスト ページが表示されます。
2. [新規]をクリックします。
プロフィールの複製ページが表示されます。
3. 以下のフィールドに入力します。

既存のプロファイル

新規プロフィールのベースとする既存のユーザ プロファイルを指定します。Vision ユーザを選択します。

プロフィール名

新規ユーザ プロファイルの名前を指定します。「Vision スーパー ユーザ」と入力します。

4. [保存]をクリックします。
新規ユーザのプロファイル詳細ページが表示されます。
5. プロファイルの詳細ページの一番上で[編集]をクリックします。
6. [Custom Object Permissions]セクションで、以下のオブジェクト アクセスの表に示す追加の選択を行います。
7. [保存]をクリックします。
プロフィールの詳細ページが表示されます。
8. プロファイルの詳細ページの Visualforce ページへのアクセスの有効化セクションで、[編集]をクリックします。

9. 以下のページアクセスの表に示す Visualforce ページを、有効にした Visualforce ページリストに追加します。それには、使用可能な Visualforce ページリストで Visualforce ページを選択し、[選択済み]リストに移動します。
10. [保存]をクリックします。

Vision のスーパーユーザ オブジェクト アクセスおよびページ アクセス

オブジェクト アクセス

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
承認基準						
Agile Vision ユーザ		X		X	X	X
バックログ フィルタ						
バックログ フィルタ アイテム						
ベースライン					X	X
ベースラインの差異						
カテゴリ					X	X
コメント						
会社					X	X
エピック						
フィーチャー					X	X
フィルタ フィールド						
地域					X	X
インボックス						
業種					X	X
フィルタ						
マスタ リリース						X

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
承認基準						
マスタリリース製品						X
マスタリリースリソース						
移行						
ペルソナ					X	X
ペルソナソース					X	X
製品						X
製品フィーチャー					X	X
製品インボックス						
製品ペルソナ						
Product 製品						
製品ソース					X	X
製品の状態					X	X
QC フォルダ						
QC プロジェクト						
リリース					X	X
リリースリソース						
リリーススナップショット詳細					X	X
要件					X	X
要件 ClarityTasks					X	X
要件フィーチャー						
要件フラット						
要件アイデア						
要件インボックス						
要件マスタリリース					X	X

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
承認基準						
要件ペルソナ					X	X
要件製品					X	X
要件リリース					X	X
要件ロール					X	X
要件ソース					X	X
要件の状態					X	X
要件 UseCase					X	X
ロール		X	X	X	X	X
セクション					X	X
ソース					X	X
ソース インボックス						
スプリント		X	X	X	X	X
スプリント チーム		X		X	X	X
ストーリー依存性						
タスク						
タスク作業ログ						
チーム		X		X	X	X
チーム日次データ						
チームメンバ					X	X
テストケース						
テストケースのステップ						
テーマ						
トレーサビリティマトリクス					X	X
ユースケース					X	X

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
承認基準						
ユーザストーリー リリース						
ユーザストーリー テーマ						
ユーザ通知					X	X
ユーザストーリー ビュー					X	X
フィールドの表示					X	X
仮想ウォール カラー マッピング					X	X

ページアクセス

注: org プレフィックスは以下のリストのページ名には含まれていません。

AgilePlannerUserDetail

AgilePlannerUserEdit

CustomFieldConfiguration

統合

PropertyViewConfiguration

RoleDetail

RoleEdit

SprintTeamDetail
SprintTeamEdit
TopAgilePlannerUser
TopMasterReleases
TopReports
TopRoles
TopSprintList
TopSprintPlanning

Vision ユーザ プロファイルの作成

Vision ユーザ プロファイルは Product Vision ユーザに基づいています。そのため、Product Vision ユーザでの選択内容は、このユーザ用にすでに選択されています。この手順では、Vision ユーザを作成するときに必要な追加の設定について説明します。

Vision ユーザ プロファイルを作成する方法

1. 以下の操作を完了して[ユーザ プロファイル]ページを開きます。
 - a. アプリケーション ヘッダ 上の [設定] をクリックします。
 - b. 左のパネルの [管理者設定] セクションでは、[ユーザの管理] をクリックし、次に、プロフィールをクリックします。
リスト ページが表示されます。
2. [新規] をクリックします。
プロフィールの複製ページが表示されます。
3. 以下のフィールドに入力します。

既存のプロファイル

新規プロフィールのベースとする既存のユーザ プロファイルを指定します。Product Vision ユーザを選択します。

プロフィール名

新規ユーザ プロファイルの名前を指定します。「Vision ユーザ」と入力します。

4. [保存]をクリックします。
新規ユーザのプロファイル詳細ページが表示されます。
5. プロファイルの詳細ページの一番上で[編集]をクリックします。
6. [Custom Object Permissions]セクションで、以下のオブジェクト アクセスの表に示す追加の選択を行います。
7. [保存]をクリックします。
プロファイルの詳細ページが表示されます。
8. プロファイルの詳細ページの Visualforce ページへのアクセスの有効化セクションで、[編集]をクリックします。
9. 以下のページアクセスの表に示す Visualforce ページを、有効にした Visualforce ページリストに追加します。それには、使用可能な Visualforce ページリストで Visualforce ページを選択し、[選択済み]リストに移動します。
10. [保存]をクリックします。

Vision のユーザ オブジェクト アクセスおよびページ アクセス

オブジェクト アクセス

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
承認基準	X	X	X	X		
Agile Vision ユーザ			X			
バックログ フィルタ		X	X	X		
バックログ フィルタ アイテム		X	X	X		
ベースライン						
ベースライン の差異						
カテゴリ						
コメント	X	X	X	X		
会社						

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
承認基準	X	X	X	X		
エピック	X	X	X	X		
フィーチャー						
フィルタ フィールド						
地域						
インボックス						
業種						
フィルタ						
マスタ リリース						
マスタ リリース製品						
マスタ リリースリソース						
移行						
ペルソナ						
ペルソナ ソース						
製品						
製品フィーチャー	X	X	X	X	X	X
製品インボックス						
製品ペルソナ					X	X
Product 製品						
製品ソース						
製品の状態						
QC フォルダ						
QC プロジェクト						
リリース						
リリースリソース						

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
承認基準	X	X	X	X		
リリース スナップショット詳細						
要件						
要件 ClarityTasks						
要件フィーチャー						
要件フラット						
要件アイデア						
要件インボックス	X	X	X	X		
要件マスタリリース						
要件ペルソナ						
要件製品						
要件リリース						
要件ロール						
要件ソース						
要件の状態						
要件 UseCase						
ロール						
セクション						
ソース						
ソース インボックス						
スプリント	X					
スプリント チーム	X		X			
ストーリー依存性	X	X	X	X		
タスク	X	X	X	X		
タスク作業ログ	X	X	X	X		

基本アクセス					データ管理	
オブジェクト	読み取り	作成	編集	削除	すべて表示	すべて変更
承認基準	X	X	X	X		
チーム	X		X			
チーム日次データ	X	X	X	X		
チームメンバ	X	X	X	X		
テストケース	X					
テストケースのステップ	X					
テーマ	X	X	X	X		
トレーサビリティマトリクス					X	X
ユースケース	X	X	X	X		
ユーザストーリーリリース	X	X	X	X		
ユーザストーリーテーマ	X	X	X	X		
ユーザ通知	X	X	X	X		
ユーザストーリービュー	X	X	X	X		
フィールドの表示						
仮想ウォールカラーマッピング	X	X	X	X		

ページアクセス

注: org プレフィックスはリストのページ名には含まれていません。

AgilePlannerUserDetail	TaskWorklogDetailJs
AgilePlannerUserEdit	TaskWorklogEdit
BacklogDetail	TeamAddSprints
BacklogDetailJs	TeamDetail
BacklogEdit	TeamEdit
BurndownHoursChartData	TeamMemberDetail
BurndownPointChartData	TeamMemberEdit
ColorFieldJs	TeamNew
DeactivateTeamWithFutureSprints	TestCaseDetail
EpicDetail	TestChartComponentPage
EpicEdit	ThemeDetail
EpicSelectorDataSource	ThemeEdit
MasterReleaseDetail	TopBacklogList
MasterReleaseEdit	TopBacklogPlanning
RowExpanderJs	TopBacklogPlanningJs
ScrumTeamDetailPage	TopCalendar
SprintDetail	TopDashboardJs
SprintDetailJs	TopDashboards
SprintDetail_UserStories_DS	TopDocumentation
SprintEdit	TopEpicList
StateList	TopEpicPlanning
StoryDependencyDetail	TopEpicPlanningJs
StoryDependencyEdit	TopSprintsJs
StorySelectorDataSource	TopTeamMembers
TaskDetail	TopTeams
TaskDetailJs	TopTeamsJs
TaskEdit	TopThemes
TaskNew	UserStoryCommentDetail
TaskWorklogDetail	UserStoryCommentDetailJs
	UserStoryCommentEdit